

「第11次徳島県職業能力開発計画」（素案）に係るパブリックコメントの募集結果について

令和3年3月10日（水）から令和3年4月9日（金）まで、第11次徳島県職業能力開発計画（素案）について、パブリックコメントにより意見を募集したところ、4名の方から4件の御意見、御提言を頂きました。
御意見の趣旨と県の考え方は次のとおりです。

No.	御意見の趣旨	県の考え方
1	<p>新型コロナの影響でWeb会議システム等を利用した働き方や講座が増えている。職業訓練においてもリモートで行えるような体制を整備する必要があると考える。また、民間に委託する訓練であれば、その際の委託先に対してリモート訓練を行う際の費用負担についても支援が必要であると考えている。</p>	<p>本計画では、職業訓練において、オンラインによるリモート訓練を行える環境を整備し、感染症や災害発生時にも安定して人材育成を行える体制の構築を目指すこととしています。 民間事業者に委託して行う訓練を、事業者がリモートで実施する場合の支援については、今後、具体的な施策を策定する中で検討してまいります。</p>
2	<p>技能五輪や技能グランプリ等の競技大会を目標に技能レベルの向上を図ろうとする方向性は理解できるが、これらの大会は参加者レベルが高く誰もが参加できるものではない。ものづくりの技能を身につけ始めた訓練生や学生が自身の技術力を試せるような場があっても良いように思う。</p>	<p>職業能力開発施設や工業高等学校等で技能を習得中の、原則20歳以下の若年者を対象とする「若年者ものづくり競技大会」は、テクノスクールの訓練生や高校生にとって、身近な目標となり、自己研鑽や技術向上の動機づけとなる大会であることから、計画の「人材育成に取り組む契機となる技能五輪全国大会などの各種競技大会の活用について」の中に追記します。</p>
3	<p>雇用につながる実践的で即戦力となれるような訓練の充実をお願いします。</p>	<p>令和2年度に、ハローワーク利用者を対象に行ったアンケートでも、「県が今後進める職業能力開発」として、15.3%の方が「実践的な技術、技能を身につける訓練」と答えており、こうした声を反映しながら施策を組み立て、実施していくことが重要であると認識しています。本計画においても、地域の産業界や求職者のニーズの把握に努め、県立テクノスクールを核とした産業人材の育成を推進するとともに、職業訓練の更なる充実強化に取り組んでまいります。</p>
4	<p>今後の社会で生き抜いていけるようデジタル技術に長けた人材が育成できるような取り組みを進めてください。</p>	<p>本計画では、5GやAIをはじめとする先端技術に対応できるデジタル人材の育成や、「新たな日常」の中で不可欠となるIT活用スキル、基礎的なITリテラシーなどを学ぶ講座等の実施を推進することとしています。いただいた御意見は、今後の具体的な施策の策定において参考にさせていただきます。</p>